

# 「き」

## へ直結

し合いだけするとう慣習は変えて長いのでは」と答えた。

講演は、いわし普及協会が「2016年度第2回漁業・おさかなセミナー」と題して主催した。

### 東北の被災加工業者向け 販路回復へ取り組み 支援 復興促進センターが助成対象者募集

復興促進センターが、東北の被災加工業者向けに、販路回復を支援する取り組みを推進している。同センターは、東北の被災加工業者向けに、販路回復を支援する取り組みを推進している。同センターは、東北の被災加工業者向けに、販路回復を支援する取り組みを推進している。

支援対象者は、青森・岩手・宮城・福島・茨城県に加工施設を持ち、東日本大震災の被害を受けた事業者。事業者は、心算前に復興水産販路回復アドバイザーによる現地指導を受ける必要がある。

募集要綱など、詳細は同センターホームページまで。

▼問合せ先 全国水産加工業協同組合連合会（電話 03-3662-2040）

# クロマグロ産卵は高水温域

## 資源管理精度向上に期待 水研機構

【静岡】水産研究・教育機構は、今後調査を続けることで、詳しい産卵条件の解明、資源管理精度の向上などにつながるのを確認した。同機構は、今後調査を続けることで、詳しい産卵条件の解明、資源管理精度の向上などにつながるのを確認した。

同機構は、今後調査を続けることで、詳しい産卵条件の解明、資源管理精度の向上などにつながるのを確認した。

同機構は、今後調査を続けることで、詳しい産卵条件の解明、資源管理精度の向上などにつながるのを確認した。

### シーフードショー大阪 来場者横ばいの1万5000人

【大阪】「第14回シーフードショー大阪」が23日、閉幕した。同時開催の「アグリフードEXPO大阪」を含めた来場者数は2日間で1万5262人と、前年に比べ228人減少。各日の来場者数は、初日が7788人（前年比413人減）、2日目が7474人（185人増）だった。



多数の来場者で混み合ったシーフードショー大阪

0歳魚は27〜28度の水温を好み、成熟年齢にさしかかった30〜70歳の魚は20度前後を好んだ。ただ、ある成魚は産卵期前後に25度以上ある暖水の渦に突入。「暖水渦で産卵していたのでは。暖水渦の中なら、仔稚魚が北の冷水域に流されてしまう心配が少ない。また、暖水渦は、マグロ稚魚の餌が豊富な沿岸域のものだった。沿岸の暖水渦を狙って産卵していた可能性がある」（藤岡研究員）

同個体が暖水渦に突入したのは新月前後。「新月は夜が暗く、卵や仔稚魚が外敵に見つかりづらい。親魚が新月を狙って産卵する可能性もある」（同）

藤岡研究員は、産卵条件をさらに調べる考えを示した。講演後、本紙に「産卵条件が分かれば、『今年は産卵が少なすぎる環境条件だから資源管理を強化しよう』など管理の精度向上にもつながり得る」と語った。

品名	前年比 (%)	金額 (百万円)
高	99.7	6,691
	120.8	8,172
	96.5	2,819
	107.8	17,682

品名	産地	数量	金額
イシダイ	三重・神奈川	1600-1300	2500-2200
メヌケ	千葉	5500-4500	
メバル	青森・北海道	2300-2000	
ホタルイカ・ポイル	兵庫	約300箱	700-500
イサキ	各地	1500-800	
イトヨリ	各地	1400	
カマス	各地	1800-600	
タチウオ	各地	3000-1800	
マダイ	各地	1300-800	
チダイ	各地	1000	
イシダイ	千葉	1000-700	
カマス	三重	1800-1500	
キンキ	北海道	7000-2000	
キンメ	千葉	4000-2000	
クエ	長崎	6000-4000	
サバ	千葉	1000-700	
宮崎	2-4キ	1600-1300	
大分	3-4キ	2000-1800	
鹿児島	3-4キ	1700-1500	
韓国	6-7キ	1000	
サゴシ	160箱	1000	
千葉	1キ上	1000	
富山	1キ下	700	
山口	1キ上	900-800	
宮崎	1キ	800-700	
長崎	7-11キ (入荷主力)	1200-400	
熊本	8キ	1000-500	
宮崎	7-18キ	400	
ワラサ	(2721箱)	450	
千葉		450	
神奈川	(入荷主力)	400-350	
長崎		300	
イナダ	(273箱)	300	
石川		300	

オ